

海軍ニュース：中国が核潜水艦生産ラインを拡大

漢和防務評論 20161205 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

トランプ大統領の登場によって大国間の戦略調整がどのように進むのか、全世界が見守っている段階だと思います。
プーチンの訪日は、この状況下で日本にとって有益であったと思います。
一角を占める中国は黙々と軍拡を進めています。
今日は、中国核潜水艦の生産ラインが拡大する、と予測する漢和の記事を紹介します。
記事の根拠となる渤海造船所の建設中の新工場の Google 衛星写真も添付します。

KDR 東京平可夫特電：

2016年の衛星写真によると、中国は、渤海造船所に新たな大型工場を建設している。KDRの分析によると、渤海造船所は、2005年以来発展を続けており、古い建物が何度も改増築されてきた。しかし、今回は、全く新しい工場と附属施設が建設されている。新しい工場の建物の長さは290M、幅は137Mある。(衛星写真上の測量による)建設は2015年に開始され2016年6月現在、未完成である。(3頁に衛星写真)

最近5年間に、渤海造船所は、3艘の094改良型戦略ミサイル核潜水艦(SSBN)と少なくとも3艘の039G型核動力攻撃型潜水艦(SSN)を生産した。また一説によると、後者は垂直発射機を有し巡航ミサイルを発射できるという。これは完全に可能だ。DH-10型巡航ミサイルは、すでに空中発射型があり、潜水艦発射型が開発されても不思議ではないからだ。工場の建設規模と大きさ(高さが低い)から見て、これらの施設は潜水艦生産工場の可能性が最も高い。当然その他の用途も排除はできないが。

このような大型工場では、核潜水艦の生産ラインが2本ある可能性がある。1本はSSBN用で、他はSSN用である。そして少なくとも同時に3乃至4艘の核潜水艦が生産できる。建設資料から見ると、建物内には、室内船台がある:3個のスパンがあり、建築面積は40260平方メートルに達する。モジュール組立工場は投資額3113万元、建築面積は6373.3平方メートルである。工場建物の長さは86.6M、幅は74.6M、高さは28.45M、柱間の距離は12M、スパンは422M、耐火、防水等級は2級である。衛星写真を見ると、この二つのスパンによれば、同時に2艘の核潜水艦のモジュールの分割建造ができる。

中国の核潜水艦生産は、空母と同様にモジュール別に生産される。この他に耐圧のモジュール製造工場がある。建築面積は35446.48平方メートル、幅は172.755mである。工場の柱間の距離は12m、投資額は19615万人民币元である。建設中の写真から見ると、二つの出入り口がある。出入り口の外形から見ると、普通の船舶の建造工場ではなく、潜水艦の分割建造のための工場のようなのだ。

核潜水艦の建造の順序は次のとおりである:最初にモジュールを製作する。次に分割建造に入る。最後に全体を組み立てる。このような建造順序は、当時の米ソと同じであり、生産速度は速い。旧ソ連のsevyemash核潜水艦工場は、屋内工場であり、屋内で組み立てら

れた。したがって米国の偵察衛星は建造の詳細情報が把握できなかった。この他の利点は、建造作業が天候に左右されないことである。

現在まで胡蘆島の渤海造船所では、093、094は露天のドックで組み立てられた。一つのドックで、一度に一艘だけ、核潜水艦が組み立てられたので情報機関は言うに及ばず主要な西側メディアはそれを発見できた。

また巨大な生産設備が建設中であり、現在の建設スピードから見て、2016年中には、遅くとも2017年上半期には完成すると思われる。2017年以降は、中国海軍核潜水艦の建造速度はさらに高まる可能性がある。

この新たな工場は、次世代の096、095型核潜水艦建造のための工場であると、KDRは推測している。

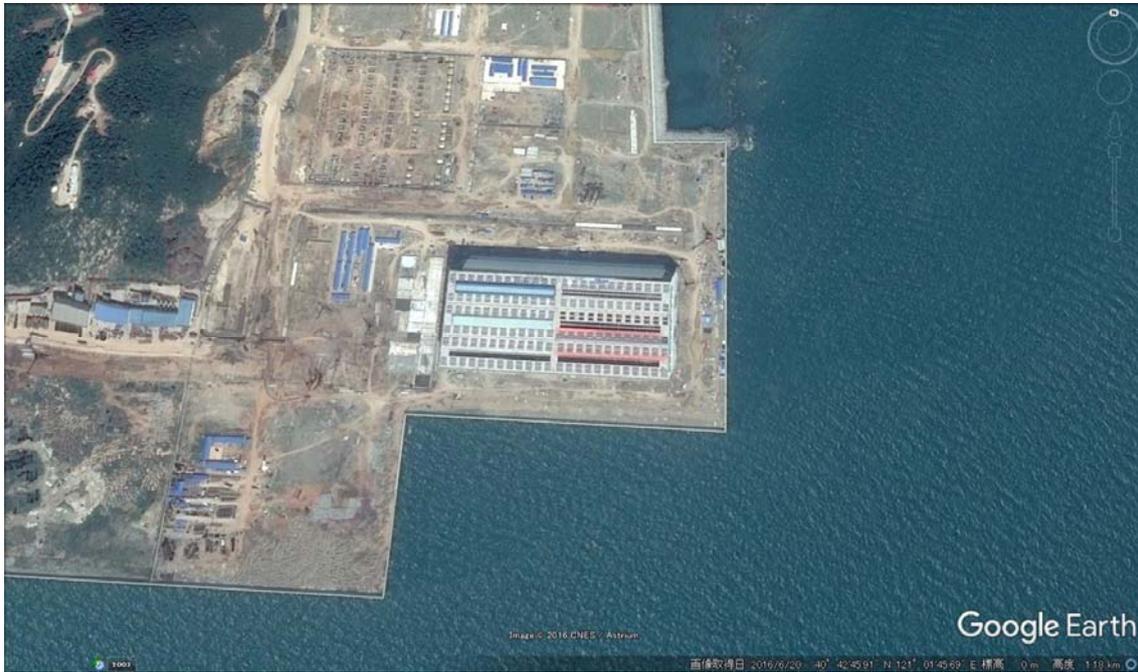
094型SSBNの長さは推定で約135M、幅は12.5Mである。093型SSNの長さは110M、幅は11Mである。これらの寸法は衛星写真からおおよそ測定できる。

中国海軍は、資金に制約があるため、1980年代から長年にわたり、空母を優先すべきか？水上艦か？或いは核潜水艦か？海軍内部で大きな論争があった。最近の2ないし3年間の中国軍内の海軍論文集を見ると、“均衡発展論”がすでに主流となっている。いわゆる均衡発展とは、空母、海軍航空部隊、核潜水艦のバランスをとって発展させることを指す。

2種類の核潜水艦はどのくらいの数を生産するのであろうか？KDRが驚いたのは、近年の中国海軍艦船の建造速度である。052D型ミサイル駆逐艦を見ると、2012年8月に1艘目が出現した後、2016年8月には、11艘目が出現している。12艘目は現在大連で建造中である。毎年平均3艘建造したことになる。しかも主として江南造船所に集中している。大連造船所は2艘である。この建造速度から見ると、今後のおおよその核動力攻撃型潜水艦の建造速度、数量がわかる。当然品質は別の話であるが。

以上

渤海造船所に建設中の新工場



(出典) Google 衛星写真